



昨年の冠水現場で訓練を実施 水害対応体制を強化

5月29日(金)、はるおかスイミングスクール赤間校駐車場で、北九州県土整備事務所宗像支所、警察署、宗像市消防団などの関係機関と地元住民約20人が参加し、「令和8年度宗像市水害対応訓練」を実施します。

令和7年8月の豪雨により市内各地で道路冠水が発生しました。道路冠水警報システムによる注意喚起を実施したものの、冠水箇所へ進入する車両や立往生する車両も確認されました。また、県道の通行止め措置は、福岡県の許可が必要なため、手続きに一定の時間がかかっています。

出水期を前に、改めて関係機関との連携強化を図るため、道路冠水時の通行止めに関する情報伝達訓練と、排水ポンプ車を活用した実践的な稼働訓練を実施します。



《昨年の道路冠水の様子(田久)》



《市で導入した移動式排水ポンプ》

【宗像市水害対応訓練 概要】

日 時: 5月29日(金) 14:00~15:00

場 所: はるおかスイミングスクール赤間校 駐車場 (宗像市田久2丁目2-18)

参加者: 北九州県土整備事務所宗像支所、宗像警察署、
宗像市消防団(約30人)、地元住民(約20人)、宗像市

内 容: ・関係機関による道路の通行止めに係る連携訓練(情報伝達の確認)
・移動式排水ポンプ車の稼働訓練(現地での設置・操作・排水の確認)

【補足】

宗像市では、「宗像市雨に強いまちづくりビジョン」に基づき、浸水対策などのハード整備を進めています。整備には時間を要するため、その間の豪雨災害に備え、移動式排水ポンプ車を1台から2台に増強し、複数地区で同時に排水できる体制を構築しています。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市危機管理課 担当: 森、遠藤 TEL: 0940-36 5050